

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和6年1月19日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月19日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明いたします。

「審査会合、会見などについて」の3件目の案件、1月25日には第63回技術情報検討会が開催されます。

議題は「国内外の原子力施設の事故・トラブル情報」や「安全研究及び学術的な調査・研究から得られる最新知見」についてのスクリーニングでございます。

25日の技術情報検討会では5件の案件がスクリーニングにかかる予定となっております。事故・トラブル情報については3件の案件が上がっております。

1つ目は、PRA（確率論的リスク評価）に用いる機器故障率のためのデータ収集についての案件で、確率論的リスク評価を行う際には、プラントを構成する機器の故障確率を把握する必要がありますが、電中研と事業者が収集している故障実績を基に、この機器故障確率を設定しているというところですが、従来収集方法では、劣化によって機能喪失に至り得る故障事例について収集対象になっていないのではないかとということになりまして、昨年1月31日の技術情報検討会でその状況を報告し、その後、調査を行ってきております。25日は、その調査を踏まえた規制庁の見解と今後の対応が報告される予定となっております。

2つ目の案件が、回路の故障が2次火災または設備の損傷を誘発させる可能性に関する調査結果です。

これも継続の案件で、平成27年1月19日に、同じ技術情報検討会で報告をされたアメリカのインフォメーション・ノーティスを踏まえて、回路故障の影響について検討がされてきたものでございます。今回は、アメリカの火災防護規制の最近の動向、国内事業者からの意見聴取状況などについて調査結果を取りまとめまして、今後の対応について報告を行うというものでございます。

3つ目が、アメリカのPWRの炉心槽溶接部で発見された亀裂についてです。

第61回技術情報検討会で、関連するアメリカの情報の収集整理の状況が報告されております。今回は、炉心槽に入った亀裂が、万一炉心槽全周に広がった場合、そして、そ

れが破断に至った場合に原子炉を安全停止できるかどうか。また、今後、本件について、どのように対応していくのかについて、事業者から聞き取りを行ったので、その結果が報告されるものでございます。

次に「安全研究及び学術的な調査・研究から得られる最新知見」については、2件の案件がスクリーニングにかかる予定となっております。

1つ目の案件は、燃料の高燃焼度化や高濃縮度化が事故時のソースタームの評価に影響するかどうかということで、それについてスクリーニングの案が示される予定となっております。

2つ目の案件は、伊豆鳥島近海で発生した津波の特徴と2023年10月9日津波の発生原因の推察です。

2023年10月9日には太平洋沿岸で津波が広く観測されております。この地震は、同日、同じ日に伊豆鳥島付近で多発した地震と関連があるのではないかと指摘されているものの、その因果関係はよく分かっていないという状態となっております。昨年11月の規制委員会で、石渡委員から調査指示があったということを受けまして知見収集に取り組んできております。今回は、その調査結果と規制庁の推察について説明を行う予定となっております。

翌日1月26日には、第1220回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は石渡委員です。

議題は、「中部電力株式会社浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の津波評価について」です。

浜岡発電所については、現在、基準津波の策定について審査を行っております。26日の審査会合では、津波堆積物について審査を行う予定となっております。令和4年11月25日の審査会合で規制庁から事業者には指摘をした項目について事業者が説明をする予定となっております。

基準津波については、津波が陸に到達した後、駆け上がる高さを予測いたしまして、その規模が、過去の周辺で起こった津波の堆積物から推定される過去の津波の高さや浸水領域と比較して大きく設定されているということを確認して、想定している基準津波の規模が妥当であるかということの評価をしております。その比較対象となる過去の津波による堆積物の評価について、26日に審査を行うというものでございます。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございます

た。

—了—